

V 教育相談事業

1 教育相談室の概要

秩父市は教育相談室を、昭和61年度に開設した。以来、児童生徒を取り巻く急激な環境の変化の中で個々の教育相談活動に取り組んできたが、平成7年度からは秩父教育事務所に配置されたスクールカウンセラーの助言を得て、より専門的な教育相談に当たることが可能になった。平成10年度、相談員を2名配置し、教育相談体制の充実を図り、翌平成11年度には、適応指導教室（ひまわり教室）を開設した。

平成15年度には、秩父市歴史文化伝承館に教育相談室及び教育相談員事務室を設けた。翌平成16年度「スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業」の委嘱を受けたことに伴い、教育相談員4名を配置し、秩父市教育支援センターとして教育相談業務と適応指導教室の充実を図ってきた。平成17年度には、市町村合併によって旧吉田町の適応指導教室（やまなみ教室）を加え、2教室制とした。平成18年度には、教育支援センターを秩父市芸術文化会館内に移転し、生徒学習室・教育相談員事務室・個別相談室を整備した。平成24年度からは、4名配置した教育相談員のうち1名がスクールソーシャルワーカー（SSW）を兼務している。なお、やまなみ教室は諸事情により、休室となっている。



秩父市芸術文化会館



適応指導教室（学習室）

2 教育相談実施状況

（1）教育相談件数と延べ教育相談回数の推移

年 度 別	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
相 談 件 数	63件	70件	58件	51件
延べ相談回数	1,521回	1,609回	1,530回	1,339回

（2）教育相談内容

相談内容	H25	H26	相談内容	H25	H26
いじめ	3件	7件	性格・行動	7件	7件
不登校	17件	17件	学業等	3件	0件
友人関係	3件	2件	その他	25件	18件

（3）形態別教育相談回数

形態	H25	H26	形態	H25	H26	形態	H25	H26
来 室	316回	330回	自宅訪問	0回	1回	関係機関との連携	394回	323回
電 話	366回	279回	学校訪問	84回	77回	適応指導	370回	329回

※平成26年度（H26）は、すべて平成27年1月31日現在

(4) 相談内容等の状況

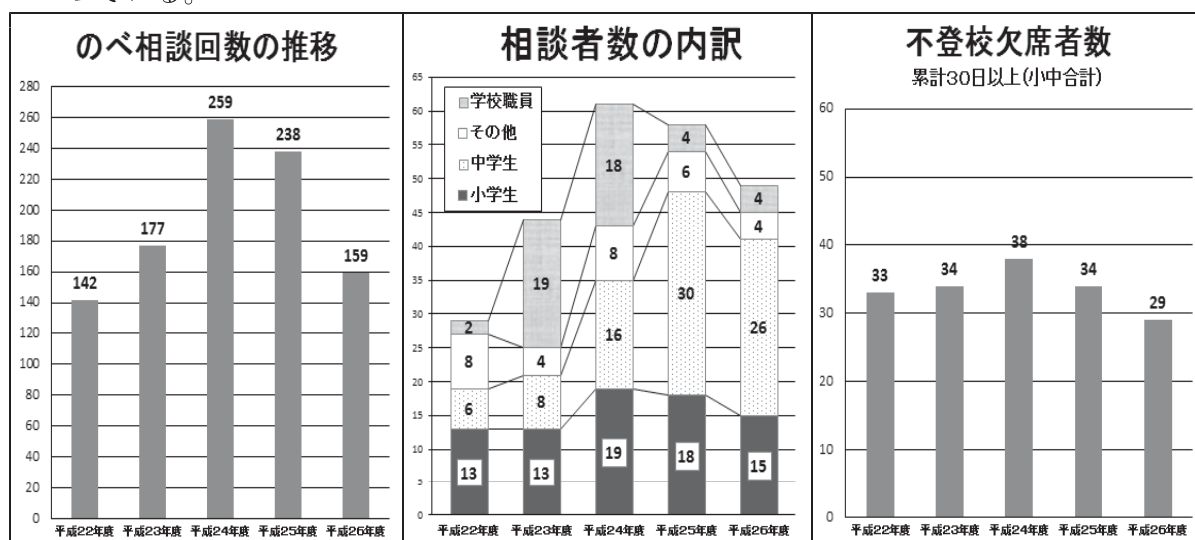
相談室では、学校をはじめ関係機関との緊密な連携を図りながら、教育相談や学習支援、保護者へのカウンセリング等を行っている。相談の形態は、相談者が直接相談室を訪れる来所相談と電話による電話相談であるが、その多くは児童生徒及び保護者や家族、知人、そして教職員等である。また、家庭訪問や学校訪問の要請もあり、その都度、柔軟に対応している。相談内容は、児童生徒の不登校に関するもの、いじめや仲間外れ等学校生活上の問題、家庭での子どもとのかかわり方やしつけのあり方、地域活動におけるトラブルなど、様々である。

不登校児童生徒は、進級・卒業時や各学期始め、学校行事等の節目に改善するケースが多い。教育相談の過程では、常に、管理職や担任、さわやか相談員など学校関係者との連携を密にしながら、個々の児童生徒に適した指導や支援に配慮している。

(5) 臨床心理士によるカウンセリングの状況

小中学校等からの依頼により、専門的なカウンセリングを必要とする児童生徒を対象として週1日、臨床心理士によるカウンセリングを実施している。相談者は、児童生徒本人・保護者・学校職員・さわやか相談員等であり、予約制となっている。学校からの要請による学校訪問、いじめ・不登校対策委員会及びさわやか相談員研修会におけるカウンセリングの進め方についての講師など、幅広く活用されている。しかし、時間的な制約もあるため、その時間に他の相談者を受け入れられないなどの問題が生じることもある。

相談内容は継続した面談を必要とするケースが多く、時間も要する。今年度は、学校事故発生時に児童のメンタルケア支援を目的として学校訪問を行うこともあった。相談の成果は、該当児童生徒についてだけでなく、学校全体の指導に役立つ結果となっている。



(各グラフ平成26年度は12月31日現在)

3 適応指導教室

(1) ひまわり教室

「ひまわり教室」は秩父市芸術文化会館内に設置している。

適応指導教室では、不登校児童生徒の学校復帰を目指し、相談員との教育相談や臨床心理士によるカウンセリングを意図的、計画的に実施することで精神面の強化を図り、学校復帰へのステップとなるよう支援している。また、自主性を育てながら教科

の学習指導を行うとともに、体を動かすことにより児童生徒の気分転換や体力の維持向上にも努め、教室の設備・備品等の充実にも努めている。平成19年度は、学習用ホワイトボード・電子ピアノ・衝立を購入。平成20年度はA2・A3サイズのポスターを作成、情報教育対応パソコン2台を設置、図書・参考書・PCソフトを購入。平成21年度は図書・ソフトバレーボールを購入。平成22年度は、バドミントンラケット・金魚飼育用品・工作道具を購入。平成23年度は学習用机椅子の整備パーティションを購入。平成24年度は学習指導要領改訂に伴う教科書・問題集を購入。平成25年度は人物日本史、大自然のふしぎ、図鑑等の学習図書の購入、平成26年度はペーパークラフトを活かした掲示等の環境整備など、設備の整備や備品等の一層の充実を図り、学習支援の質的向上に努めた。

(2) 自然・社会体験教室

「自然社会体験教室」は平成16年度にスタートさせ、今年で11年目を迎えた。この教室では、さまざまな理由から不登校に陥ったり、その傾向にある児童生徒に対して、学校適応や社会適応のきっかけとして、仲間との触れ合いを中心とした体験活動を行っている。不登校児童生徒にとって人とのかかわりが持てる大変良い機会であり、貴重な情報交換の場となっている。参加した児童生徒は、通級児童生徒はもとより、各学校の相談室登校や保健室登校の児童生徒、保護者、教育相談員、さわやか相談員等との交流の中で伸び伸びと自己表現をしたり、生き生きと積極的に活動したりしている。



第2回 ポップアップカード作り（生徒作品）

【平成26年度自然社会体験教室：年間計画】

No.	月 日 (曜)	内 容	場 所
1	5月28日 (水)	ストレスマネジメント	芸術文化会館2F会議室
2	7月 9日 (水)	ポップアップカードを作ろう！	秩父市教育研究所(ひまわり教室)
3	9月24日 (水)	伝統芸能に親しもう！	芸術文化会館2F会議室
4	10月15日 (水)	羊山ハイキング	羊山公園
5	11月12日 (水)	ロッテ狭山工場見学！	ロッテ狭山工場
6	12月10日 (水)	クリスマスクラフト	秩父市教育研究所(ひまわり教室)
7	1月21日 (水)	卓球大会	芸術文化会館2F会議室
8	2月25日 (水)	お楽しみ会	秩父市教育研究所(ひまわり教室)

4 教育相談員の研修

(1) 教育相談員カウンセリング研修

教育相談員の研修は、臨床心理士を指導者として、それぞれの事例について対応策を探った。臨床心理士の専門的かつ適切な指導助言は、相談員にとって非常に有益なものとなっている。また、相談員内で、個々の事例分析や支援方策について協議する

ことで、具体的で統一した教育相談活動を行っている。

(2) さわやか相談員研修会

市内中学校に10名配置した「さわやか相談員」は、様々な悩みや問題を抱える児童生徒に寄り添い、相談者として対応している。

今年度は、情報交換・相互連携を目的として、8回の研修会を開催した。また、研修会場を中学校5校にも設定し、他校の相談室運営や児童生徒のようすなどを実際に見ることができ、有意義なものとなった。研修の主な内容は、情報交換・研究協議であり、効果的な相談室運営に関する協議等を行っている。

(p. 参照)



さわやか相談員研修会

5 成果と課題

(1) 成果

ア 昨年度と比較して、保護者や児童生徒による電話や来所での相談件数及び適応指導教室への児童生徒の通級の状況については、多少の増減はあるが全体としてはほぼ同様であった。

イ 適応指導教室「ひまわり教室」の周知と、適応指導教室通級が適当と思われる児童生徒がいる学校に具体的な紹介活動を進めた結果、2月末で12名の通級者があった。

各相談員の専門性を活かした支援及び各学校との日常的な情報連携等により、学校復帰に向けた意欲を育てたり、適切な進路選択に導いたりすることができた。

ウ スクールソーシャルワーカー（SSW）兼相談員の業務として、不登校対応、発達障害や非行問題行動等について、「定期的な学校訪問」「サポートチーム会議」「学校職員との対応相談」や地域諸機関との連携強化など具体的な支援ができた。

エ 自然・社会体験教室は活動内容を工夫し、各学校の職員や関係機関との理解と協力により、多くの参加者のもと実施できた。

オ 今年度は、適応指導教室内及び廊下の掲示物等に関して様々な工夫ができ、環境整備面での大きな前進につながった。

(2) 課題・次年度への検討事項

ア 連携と支援方法の共有が支援活動では大きな鍵となる。今後も、より効果的な支援活動を積極的に推進していく。

イ 所員、相談員のより専門的な資質向上を計画的に進め、各学校、保護者等に向け課題解決に向けた具体的支援、資料提供等を積極的に推進する。

ウ 教育相談、カウンセラー活用と適応指導教室利用に向けたわかりやすい資料（パンフレット等）を工夫作成し、効果的な利用と運営、支援の充実を目指す。

エ SSW兼教育相談員による計画的な学校訪問により、学校や保護者等の要望に積極的に応えとともに、学校と保護者、関係諸機関との連携を積極的に図っていく。

オ 定着してきた自然・社会体験教室について、新たな視点を含めた計画立案を図り、さらに魅力ある内容を工夫する。

カ コミュニケーション能力の育成や学習支援を充実し、児童生徒ができるだけ早く学校に復帰できる支援を目指す。

VI 秩父大好き人間育成事業

1 子どもちちぶ学士・子どもちちぶ博士

1 趣 旨

秩父市の自然、歴史、文化、産業等、郷土に関する調査・研究を複数年にわたって進め、その成果が特に顕著であると認められる場合、又は一定の領域についての調査・研究・実践に複数年にわたって取り組み、努力の成果が特に顕著であると認められる場合、小学生には「子どもちちぶ学士」、中学生には「子どもちちぶ博士」の称号を授与する。

また、一定の領域についての調査、研究が、ジオパーク秩父に関連した調査、研究に該当する場合、「子どもちちぶジオ学士」「子どもちちぶジオ博士」の称号を授与する。

2 子どもちちぶ学士・子どもちちぶ博士の研究等の概要

(1) 子どもちちぶ学士（小学生6名）〔含ジオ学士3名〕

学士	No.41	学校名：尾田蒔小学校	学年：6 学年	氏 名：原田 椋介
研究領域	社会科			
研究テーマ	秩父鉄道車両体験			
1 研究内容	秩父鉄道は、秩父地域開通100周年にあたる。夏休みに秩父鉄道の車両基地と熊谷駅で様々な体験をしてきたので、そのことについてまとめた。普段見ることのできない所も見学させていただき、鉄道の仕事や鉄道の車両について詳しく調べた。			
2 研究成果	鉄道に関するいろいろな仕事に分かり、貴重な体験となった。特に、目に見えないところの大変な仕事もあり、その上で安全な鉄道運行が行われているのだと思った。また、蒸気機関車の整備には時間がかかり、その維持には大変苦労していることも分かり、よかった。			

学士	No.42	学校名：尾田蒔小学校	学年：5 学年	氏 名：島崎 伊武希
研究領域	社会科			
研究テーマ	秩父札所巡り ※ジオ学士			
1 研究内容	今年が秩父札所午歳総開帳の年にあたるということを知り、秩父札所について調べてまとめた。夏休みに、4日間かけて札所34カ所をすべて巡り、札所の特徴をまとめた。			
2 研究成果	12年に一度しか見ることができない各札所のご本尊を見ることができよかった。また、仏像の種類之多さにも驚いた。それぞれのお寺には特徴があり、特に札所4番と32番が印象に残っている。			

学 士	No.43	学 校 名	原谷小学校	学 年	4 学 年	氏 名	佐 國 有 紀
研 究 領 域	理 科						
研究テーマ	ペットボトル魚をとばすには？						
1 研究内容							
海から魚が飛び跳ねるのを見て、ペットボトルで飛び出す魚を作ろうと考えた。始めに飛ぶ魚について調べた。ペットボトルを使って試したところ、形や向きなどによって違いがあることがわかった。そこで、条件を統一しながら、次の実験を行った。							
実験 1 ペットボトルの向きを変えてみる							
実験 2 ペットボトルの中の空気の量を変えてみる							
実験 3 水面からの深さを変えてみる							
実験 4 ペットボトルの形を変えてみる							
2 研究成果							
実験結果からわかったことをまとめ考察した。							
①ペットボトルは下向きで水中に沈めるとよい。							
②深さは20cm程度							
③形は、先の角度が小さいもの							
④横の線やへこみがないもの							
⑤大きさは大きいほどよい							

学 士	No.44	学 校 名	大田小学校	学 年	5 学 年	氏 名	山 中 雄大
研 究 領 域	社会科						
研究テーマ	大田！不思議発見！！ ※ジオ学士						
1 研究内容							
自分の住む大田について、自ら歩き記録をするとともに、太田の歴史に詳しい方の話を聞くことにより、太田の成り立ち、歴史や人物について調べた。							
2 研究成果							
(1) 歴史について							
①太田の中心を流れる長森川、この川があったからこそ、多くの田んぼや畑が作られることになった。							
②太田と大田について							
・大田には、「太田」と「大田」があることがわかった。							
・現在の大田地区は、太田、小柱、堀切、伊古田、品沢の5地区があり、秩父市になる前は、大田村と呼ばれていたことがわかった。							
・それぞれの地区も村であり、がっぺいして大田村になった。このため、昔の「おおた村」と新しい「おおた村」を区別するために「大田」と「太田」を区別していることがわかった。							
(2) 太田の偉人（いじん）について							
①武島 務（たけしま つとむ）							
・医者を目指し、ドイツに留学							
・留学中、森鷗外と出会う。森鷗外の代表作「舞姫」の登場人物「太田豊太郎」のモデルは武島務だった。							
②伊古田純道（いこた じゅんどう）							
・日本で初めて帝王切開手術を行った人物							

学士	No.45	学校名：吉田小学校	学年：6 学年	氏 名：宮原 快成
研究領域	社会科			
研究テーマ	「秩父屋台ばやし」と「しの笛づくり」 ※ジオ学士			
1 研究内容				
(1) 秩父屋台ばやしの由来				
(2) 秩父屋台ばやしのリズム				
(3) 篠笛づくり				
2 研究成果				
(1) 秩父夜祭の創始発展による説と大阪城築城の際の石ひきばやしによる説がある。				
(2) 小太鼓は8分の4拍子で打ち続けるが、玉入れは16分音符が主体となる。 「抱き枕」と「玉」がある。 大太鼓も8分の4拍子で大波・小波がある。 横笛も同じく8分の4拍子で吹く。				
(3) 紙ヤスリで篠を磨く → 位置を決めて穴を開ける → うた口にバルサを詰める → 篠を巻く → 塗料を塗る → 一日乾かして完成				

学 士	No.46	学 校 名	荒川東小学校	学 年	4 学 年	氏 名	佐々木 康宇
研 究 領 域	理 科						
研究テーマ	ダンゴムシの研究						
1 研究内容							
ダンゴムシ100匹で条件を変えた迷路実験をし、ダンゴムシの交換性転向反応を調べた。							
実験A 昼と夜でスピードをくらべる。							
実験B 上り坂と下り坂でスピードをくらべる。							
実験C 迷路を大きくする(2 cm 幅)。							
実験D 迷路の途中にエサを置く。							
実験E 迷路の半分を日かげ							
実験F 迷路にタバコの煙を入れる。							
実験G 2 cm 幅の迷路で坂道の実験							
2 研究成果							
実験C・D・E・F・Gでは同じ迷路で条件を変えて実験した。							
ゴールできたダンゴムシは交換性転向反応をしていると考え、							
(実験) C→E→D→G→Fの順で交換性転向反応が出にくくなった。							
結果：日かげやエサを置いて迷路実験をすると日かげやエサが好きだという習性より交換性転向反応のほうが強く働き、苦手と思われる坂道やタバコの煙の迷路実験では交換性転向反応があまり働かなくなるという結果になった。							

(2) 子どもちちぶ博士 (中学生 2 名) [ジオ学士 2 名]

博士	No.59	学校名：秩父第一中学校	学年：3 学年	氏 名：宇佐美 礼恩
研究領域	理科			
研究テーマ	秩父盆地の化石 ～約1600万年前の動植物達～ ※ジオ博士			
1 研究内容				
本研究は5年間化石を調べてきた成果をまとめたものである。実際に何度も現地に足を運び化石を採集した。その後、博物館で詳しく教えて頂き、図鑑やインターネットを用いて産地ごとにどのような化石が産出したかまとめた。				
2 研究成果				
新生代第三紀中新世に秩父盆地に生息していた動植物の多様性、環境、また地層の成り立ちについてさまざまなことが分かった。				

博士	No.60	学校名：大田中学校	学年：2 学年	氏 名：浅香 好
研究領域	理科			
研究テーマ	分布を広げる昆虫たち			※ジオ博士
1 研究内容				
以前は秩父に生息していなかったクマゼミの鳴き声を自宅で聞いたことから、昆虫の生息域が変化していることに興味を持ち生息域を広げている昆虫の様子と、その原因について考察した。クマゼミの他にも近年、生息域を広げている昆虫がいなか調べた結果、いくつかの昆虫が生息域を広げていることがわかった。その中で観察や採集が可能な4種類の昆虫について、その分布の広がりや、生態について次のようなことを調べた。 (1) 昆虫の観察、採集 (2) 昆虫の以前の生息域と近年の生息域の変化 (3) 秩父の平均気温の変化、冬場の最低気温変化 (4) 気温以外の要因について				
2 研究成果				
環境省が行った生物の生息域の調査「いきものみつけ」等の調査結果から、調べた4種類の昆虫は急速に分布を広げていることがわかった。また、過去の秩父の気温のデータからは、徐々に平均気温や冬場の最低気温が上昇していることがわかった。以上のことから、昆虫の生息域が北上している大きな要因は気温の上昇にあることがわかった。それ以外の要因としては、流通の発達により植木や鑑賞用の植物が短期間で移動し、それについて昆虫も移動すること、アカボシゴマダラに関しては、マニアの意図的な放蝶なども原因であることがわかった。				

2 秩父市子ども伝統芸能伝道師・子ども芸術文化伝道師

1 趣 旨

秩父市に古くから伝わる伝統芸能の継承、普及等に継続的に取り組み、優れた成果を収めている児童生徒に「秩父市子ども伝統芸能伝道師」、芸術文化活動において特に優れた成果のあった児童生徒に「秩父市子ども芸術文化伝道師」の称号を授与する。

2 秩父市子ども伝統芸能伝道師・子ども芸術文化伝道師授与児童生徒

(1) 秩父市子ども伝統芸能伝道師（小学生43名、中学生122名、合計165名）

伝統芸能名称	学 校 名	学年	児 童 生 徒 名
日本舞踊（秩父夜祭所作・曳き踊り）	秩父第一小学校	小4	横川 海
秩父歌舞伎	花の木小学校	小6	小島璃子 中島詩歩 宮澤舞羽 春山夏美 坂本陽奈子
秩父屋台囃子	西小学校	小6	小石川晴南
		小5	山崎流偉 新井胡桃
		小4	齋藤雪斗 柴崎 陸 根岸誠矢 山中空翔
	南小学校	小6	森田夕輝
	尾田蒔小学校	小6	内海朝斐 茂木悠真 加藤匠馬
	原谷小学校	小6	柿沼慶賢 田中 翔 長橋聖人 豊田航琉
	久那小学校	小6	石渡厚佑 岡田 純 笠島 歩 黒澤菜々花 新井颯太 原嶋 響 引間愛花
	影森小学校	小6	江田岳人
	秩父第一中学校	中3	萩原秀斗
		中2	高橋勇冴
		中1	大島達也
	秩父第二中学校	中3	山田晃星 小野田太一
	影森中学校	中1	山中海輝
萩平子ども歌舞伎	尾田蒔小学校	小6	田口友哉
	尾田蒔中学校	中3	大久保梨理
黒谷の獅子舞	原谷小学校	小6	富田亮成 田口菜月
葛城神社の獅子舞	久那小学校	小4	浅賀柚花 新井勇斗 大澤玲音 久保涼太 鳴海夕季 町田 慎
浦山の獅子舞	影森中学校	中3	浅見佳希 新井大貴 石渡萌花 伊藤悠稀 岩田真凜 大野弥悠 加藤日和 大野日菜子 島崎拓也 田島大輝 原嶋胡桃 山岸龍之介 山中誠之 横田健斗 碓谷陸空 水戸部桃果 黒澤好華 山中健希瑠
塚越の花祭りの大将	吉田小学校	小6	新田有彩
龍勢の口上（東雲流）	吉田小学校	小6	久保 葵

伝統芸能名称	学 校 名	学年	児 童 生 徒 名
荒川白久神明社の御神楽囃子	荒川西小学校	小 6	山中 桃 町田綺花
荒川日向熊野神社の獅子舞	荒川西小学校	小 6	菅沼 凜
貴布禰神社神楽	吉田中学校	中 2	浅見真希 新井溪斗 新井健斗 新井 翼 新井めぐみ 新井裕世 飯嶋楓愛 市川裕章 岡部稜平 落合恭平 小櫃汐音 加藤誉之 加藤萌里 黒澤寿伍 黒澤渉大 金森里佳子 黒澤卓矢 黒澤友馬 小池優花 黒澤さくら 小林 航 齋藤建実 佐藤梨菜 黒澤あゆみ 島崎 翼 強矢恵里 竹内 快 川井里緒菜 柴崎紗羅 谷 明莉 富田怜美 四方田健人 藤原魅月 古川俊輔 宮本実侑 布留川千紘 茂木彩莉 葭田周作 西 朱里 宮前美寿樹
三峯神代神楽	大滝中学校	中 3 中 2 中 1	千島慶太 井上菜々子 千島優希 木村有沙 宮田帆乃香 宮元優美歌 山中裕貴 浅海芹奈 山中晴未
白久串人形芝居及び白久神明社神楽	荒川中学校	中 3	浅海倭都 新井涼磨 稲垣亜由巴 井上綾斗 岩田 翠 遠藤百恵 大澤捺乃 栗原太聖 栗原ちひろ 菅沼 隼 菅沼優加 鈴木栄峰 高野 諒 武田好未 中村公一 町田優貴 武藤日向 山中 茜 山中千晴 山中輝之 山中 遥 横田晃輝 横田裕香 新井衿菜 浅見友也 浅見日向子 新井愛郁 新井聖也 新井望夢 新井萌菜 新井悠輝 石井杏実 江田彩乃 大澤修也 小河孝太郎 笠原沙紀 金子晴美 川島 光 久保なつみ 児玉幸弘 高野麗世 馬場章太 三上 葵 溝口優佳 山中悠加 横田 媛 若林龍也 佐々木良太

(2) 秩父市子ども芸術文化伝道師 (小学生5名、中学68名、合計73名)

児童生徒名	学 校 名	学年	芸術文化(作品等)の名称
宮城利沙子	西小学校	小 4	絵画「ヘチマ公園へようこそ」 第49回郷土を描く児童生徒美術展 県知事賞
勝又 愛翔	原谷小学校	小 3	絵画「木のカラフル遊園地」 第49回郷土を描く児童生徒美術展 県知事賞
坂本 音乃	原谷小学校	小 5	絵画「横瀬駅から見た武甲山」 平成26年度武甲山の図画・作文展 県知事賞
柏木 優太	高篠小学校	小 5	絵画「札所一番」 県民の日記念絵画コンクール 県知事賞

児童生徒名	学 校 名	学年	芸術文化（作品等）の名称
櫻井 莉子	影森小学校	小 3	絵画 第 5 4 回「下水道の日」作品コンクール ポスター部門小学校低学年の部 県知事賞
コーラス部	秩父第一中学校	中 1 中 2	合唱 第 5 7 回埼玉県合唱コンクール 金賞
	中 1：岩田綾乃 若林めぐみ 新井華帆 久保田成美 島崎有規 千島彩香 田端沙耶乃 根岸結希 小林零杏 大出風香 町田麻央 中田椎菜 古川那都奈 内田萌絵 竹内美幸 中 2：荒船美白 小林茉由 濱田希樹 梅沢拓樹 浅賀七星 堀口栞里 平野紗羅 堀口喜恵		
新井 千尋	秩父第二中学校	中 1	絵画「札所 2 3 番」 県民の日記念絵画コンクール 県知事賞
有志合唱部	秩父第二中学校	中 1 中 2 中 3	合唱 TBS こども音楽コンクール 最優秀賞
	中 1：中野春花 深田彩愛 池田唯花 宇井 堇 中村有寿 須賀可純 高橋莉沙 中田みゆ 増田羽純 廣瀬莉帆 土屋望夢 明石 花 関野優聖 大地 彩 中田有紀 石川愛華 山中梨瑚 福島実紅 中 2：高野朋花 大野未唯菜 佐野桃子 萩原あかね 光本美羽 山田真鼓 原嶋理花子 中 3：大畑朱音 坂本彩衣 浅見玲奈 新井菜々実 加藤沙彩 木村柚穂 永田明梨 町田華穂 山口芽衣 湯本早紀 赤岩沙紀 井上菜々子 小泉真珠 坂本亜里紗 橋本麻央 福島彩菜		
山中 晴未	大滝中学校	中 1	作文「水は大切」 第 3 6 回 全国中学生水の作文コンクール 埼玉県審査会 水の特別賞
宮田帆乃香	大滝中学校	中 2	作文「水神様」 第 3 6 回 全国中学生水の作文コンクール 埼玉県審査会 水の特別賞
宮元優美歌	大滝中学校	中 2	作文「川を守る」 第 3 6 回 全国中学生水の作文コンクール 埼玉県審査会 最優秀賞
木村 有沙	大滝中学校	中 2	作文「奥秩父もみじ湖」 第 3 6 回 全国中学生水の作文コンクール 埼玉県審査会 優秀賞・全国審査会 佳作

3 秩父市子どもスポーツマスター

1 趣 旨

スポーツの各分野において優れた成果のあった児童生徒に「秩父市子どもスポーツマスター」の称号を授与する。

2 秩父市子どもスポーツマスター授与児童生徒

(小学生 2 名、中学生 13 名、合計 15 名)

児童生徒名	学 校 名	学年	スポーツの名称等
富山 湊	吉田小学校	小 1	柔道 (個人) 第 36 回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会兼県民総合体育大会 小学 1 年生男子の部 第 1 位
黒澤かのん	荒川東小学校	小 6	剣道 (団体) 第 37 回全国スポーツ少年団剣道交流大会埼玉県代表選手選考会小学生団体の部 第 1 位
平塚 錬	秩父第一中学校	中 3	弓道 (団体)
渡邊 敏生	秩父第一中学校	中 3	埼玉県民総合体育大会兼全国中学生弓道大会埼玉県予選会 第 1 位
宮谷 堅斗	秩父第一中学校	中 3	弓道 (団体)
柳沢 琢斗	秩父第一中学校	中 3	埼玉県民総合体育大会兼全国中学生弓道大会埼玉県予選会 第 2 位
川西 俊祐	秩父第一中学校	中 2	埼玉県民総合体育大会兼全国中学生弓道大会埼玉県予選会 第 2 位
小鹿原祥悟	秩父第一中学校	中 2	弓道 (個人)
引間 生吹	秩父第一中学校	中 3	埼玉県民総合体育大会兼全国中学生弓道大会埼玉県予選会 第 2 位
藤田 花那	秩父第一中学校	中 2	弓道 (団体)
内田 毬乃	秩父第一中学校	中 2	埼玉県民総合体育大会兼全国中学生弓道大会埼玉県予選会 第 2 位
黒沢 菜々	秩父第一中学校	中 2	弓道 (個人)
新井 玲也	秩父第二中学校	中 2	埼玉県学校総合体育大会 第 1 位
井上 綾斗	荒川中学校	中 3	剣道 (団体)
新井 聖也	荒川中学校	中 3	埼玉県スポーツ少年団剣道大会 中学生男子 第 1 位

平成26年度

子どもちちぶ学士(ジオ学士)・子どもちちぶ博士(ジオ博士)

秩父市子ども伝統芸能伝道師・秩父市子ども芸術文化伝道師

秩父市子どもスポーツマスター

称 号 授 与 式

- 日 時 平成27年2月10日(火) 午後4時00分～午後4時50分
- 場 所 秩父市歴史文化伝承館 2階 ホール
- 参加者 授与児童生徒 58名 保護者 56名
教職員 3名 市関係者 23名



△子どもちちぶ学士(ジオ学士)・博士(ジオ博士) 6名の授与



△芸術文化伝道師 12名 授与の様子

あとがき

秩父市教育研究所は、①教育に関する専門的・技術的事項の調査研究に関すること、②教育関係職員の研修に関すること、③教育相談及び指導業務に関すること、④教育に関する資料の収集及び提供に関すること、⑤その他教育の充実と振興を図ることを目的として平成17年4月1日に設置され、本年で10年目を迎えました。

秩父市の教育の現状と課題をふまえ、「秩父市学校創造スーパープラン」に基づき、「笑顔とあいさつ 思いやりと感動 志高き 秩父大好き人間を育てる」ことを目標に事業を実施してまいりましたが、その内容につきまして「紀要」第10号にまとめさせていただきました。平成26年度における教育研究所の事業の概要を多くの皆様方にご覧いただくとともに、取組についてご意見をいただき、今後の教育研究所のさらなる充実・発展を図りたいと考えます。

教育研究所が設置され10年目を迎える今年度は、これまでの9年間の反省の上に立ち、秩父ならではの教育活動と特色ある学校（園）づくりを目指して、各学校（園）を支援するために全力を尽くしてまいりました。その中で特に児童生徒の基礎学力の向上や教職員の資質向上に向けて様々な研修会の開催、調査研究、小・中学生対象の講座等を行ってまいりました。

教職員を対象とした学校経営参画意識を高める研修講座等や各種推進委員会をはじめとする研修会の実施に際しましては、開催時期や実施回数の検討を行い、各学校（園）の日程等を考慮し、調整をしてまいりました。

小・中学生対象の講座では自主的な学習への取組の支援や多様な興味・関心に応える機会を数多く開催し、児童生徒の学力向上や夢の実現を応援してまいりました。

終わりに、この1年間、秩父市教育研究所の諸事業に際し、ご指導、ご助言をいただきました関係諸機関ならびに多くの皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後とも皆様からの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年3月